

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	関西大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	カンサイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F127310108081
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	大阪府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ(ビジネス)
	学部・研究科等名	全学部・研究科
	担当教職員名・役職	平野義明・キャリアセンター所長
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	35
	受入企業等数	15
	受入企業等名	いちよし証券株式会社、株式会社内田洋行、大阪商工信用金庫、株式会社ODKソリューションズ、小泉成器株式会社、行政書士法人第一総合事務所、株式会社大伸社ディライト、高松建設株式会社、但陽信用金庫、株式会社中央電機計器製作所、西川ゴム工業株式会社、株式会社日新、株式会社パソナグループ、リコージャパン株式会社、学校法人関西大学
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	5.他県をまたぐ広域でのキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業等におけるインターンシップを通じて、大学での学びから就労へのイメージを構築するため、事前・事後においてキャリアデザイン担当教員による講座受講を必須とし、より高い教育的効果をめざす。受入企業と個別に調整を行い覚書を交わすことにより、インターンシップの質的・量的担保を図る。本実習の集大成として、企業及び関係教員の同席による実習体験報告会を行い、それぞれの学生の就労体験からの学びを共有し、フィードバックを行うことをもって、学びを明確にしたうえで定着を図り、今後のキャリア形成につながることをめざす。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	1.当該キャリア形成支援活動は、教養教育科目として実施している 2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 7.当該キャリア形成支援活動は、授業期間中に実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	

項目	確認事項	届出内容
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年
		大学院 修士1年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	夏季休業期間中の1企業・団体5日以上の実習期間とし、その期間を挟む形で事前・事後講座を実施。本インターンシップにおいて各学生が掲げる目標達成に向かって具体的な準備とフィードバックを行う。
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	事前講座Ⅰ(オリエンテーション):インターンシップ全体にわたる注意事項や心構え、企業への事前連絡に関する説明等。同一企業等で実習する学生同士の顔合わせ。事前講座Ⅱ(インターンシップの意義と目的を考えよう):「働く」こと、「社会の一員」となることの意義を含めて、インターンシップにむけての意識向上を目的とした内容。実習への参加理由や取り組む姿勢をグループワークを通じて確認する。 事前講座Ⅲ(マナーとコミュニケーションを身につけよう):講義や実技を交えて、職場での礼儀作法や「いかに自らの意思を伝え、相手の言葉や表情を受け止めることが重要か」を学ぶ。 事前講座Ⅳ(安全対策):製造や研究の現場での実習が多い理工系のインターンシップにおいて注意すべき事項について指導する。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事後講座Ⅰ(インターンシップにおける学びを振り返ろう):インターンシップの総まとめとして、この経験を今後の進路選択・就職活動にどう生かしてゆくのかをグループワークを通じて体系的に捉える。 事後講座Ⅱ(実習体験報告会):実習先でのインターンシップを実習生が報告するとともに、パネルディスカッションを通して、各々の体験を教材に深く学んでいく。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	企業における実習期間中に、キャリアセンター担当者が実習先に訪問し、必要に応じた助言や実習内容の確認を行う。

項目	確認事項	届出内容
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	事前・事後講座において、ワークシートを用いて学生自身が目標の設定と到達度の確認が出来るようにしている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	業務日誌の作成を必須とし、内容をキャリアセンターにて点検・確認を行った後、各所属学部において単位認定の可否を審議する。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	学生の夏季休業期間中において、各企業における5日以上の実習期間を定めている。
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
5-3.上記回答内容に関する詳細	基本情報内「受入企業等名」に記載の企業において、5～10日間のインターンシップを行っている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	大学から参画企業に対して実施概要を提示し、大学としてプログラムに求める狙いやインターンシップ実施上の条件を共有したうえで、覚書を締結することにより双方の認識を一にして質が担保されたプログラムを実施している。事前・事後講座の内容についても明らかにしておくことにより、企業は学生のスタートラインと目標を理解したうえで安定した運用が可能となっている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.kansai-u.ac.jp/career/student/internship.html
問い合わせ先	大学等名	関西大学
	担当部署名	キャリアセンター
	担当者役職名	キャリアセンター事務局キャリアセンター事務グループ 課員
	担当者氏名	田中 誠二
	電話番号	06-6368-0162
	メールアドレス	internship@ml.kandai.jp